

※本文中の()内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

◎志願者の増減が目立った大学

□共通テスト利用方式での志願者数増加が目立つ

4月18日現在、一般選抜の志願者数が確定した大学で、志願者数の増加数、減少数がそれぞれ3,000人以上の大学について見ていきます。

増加数が最も多かったのは千葉工業大の19,360人(114)、次いで日本大の16,393人(122)、東洋大の10,852人(111)、近畿大の10,426人(107)で、10,000人以上の増加は以上の4大学です。3,000人以上の増加まで含めると22大学で、前年度最終の14大学から8大学増加しました。

千葉工業大は共通テスト利用方式でコロナ禍対策として実施した受験料負担軽減システムを継続したこともあり、19,775人の大幅増加となりました。特に、共通テスト受験後に出願可能なく共テ・中期>(155)、<共テ・後期>(167)は共通テストの平均点アップの影響で大幅増加でした。一般方式は415人の微減ですが、志願者数は大学初の全国最多となりました。日本大は前年度大学を取り巻く厳しい環境から大学全体で志願者数が23%減少しましたが、今年度は16,393人の大幅増加で、志願者数は2年ぶりに9万人を上回りました。東洋大は多くの学部学科で、選抜方式が大幅に増えたことが影響し、10,852人の増加で、志願者数は2年連続で10万人を上回りました。近畿大は2年連続志願者数が減少していましたが、10,426人の増加で2年ぶりに15万人を上回りました。しかし、12年連続志願者数最多とはなりませんでした。

減少数が最も多かったのは大阪産業大の4,186人(72)、次いで明星大の3,398人(78)でした。共通テストの平均点アップの影響で共通テスト利用方式の志願者数が増加した影響で、3,000人以上の減少はこの2大学にとどまり、前年度最終の6大学から4大学減少しました。

大阪産業大は志願者数が前年度4,000人以上増加しましたが、今年度は4,186人の大幅減少。情報デザイン、建築・環境デザイン、システム工の3学部を新設し、募集人員が減少したことも影響しました。明星大は志願者数が2年連続増加していましたが、今年度は3,398人の大幅減少となりました。学部別では10学部全て減少で、デザイン(67)、情報(69)はいずれも3割以上の減少となりました。

なお、近年は入試日程や方式の追加、併願時の入学検定料の割引などで受験生の利便を図ることによって志願者数を増加させている大学もあることから、単純に志願者数の延べ人数だけで、大学の人気を測れないことにも十分に留意してほしいと思います。

【3,000 人以上増加した大学】

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2025 年度	2024 年度	
千葉工業大	+19,360	114	162,005	142,645	大学全体では、19,360 人(114)の増加で、志願者数は初の全国最多。方式別では、一般方式は 415 人(99)の微減だが、共通テスト利用方式は受験料負担軽減システムの継続で 19,775 人(123)の大幅増加。特に、事後出願の<共テ・中期>(155)、<共テ・後期>(167)は大幅増加。
日本大	+16,393	122	92,232	75,839	大学全体では、16,393 人(122)の大幅増加。志願者数は2年ぶりに 9 万人を上回った。方式別では、一般方式は 8,664 人(114)の増加、共通テスト利用方式は 7,729 人(148)の大幅増加。学部別では、17 学部全てが増加。
東洋大	+10,852	111	113,762	102,910	大学全体では、10,852 人(111)の増加で、2年連続増加。私立大の中で志願者数が4番目に多かった。一般方式は 12,018 人(121)の大幅増加、共通テスト利用方式は 1,166 人(97)のやや減少。多くの学部学科で、選抜方式が大幅に増えた影響。
近畿大	+10,426	107	157,526	147,100	大学全体では、10,426 人(107)のやや増加。志願者数は2年ぶりに 15 万人を上回った。方式別では、一般方式は 1,280 人(101)の微増、共通テスト利用方式は 9,146 人(124)の大幅増加で、志願者数は3年ぶりに4万人を上回った。
実践女子大	+8,254	352	11,534	3,280	大学全体では、8,254 人(352)の 3.5 倍以上の激増。新規に環境デザイン学部を設置したことや、検定料の割引が影響。<一般 I 期>を1月に実施したことも志願者数増加につながった。
中央大	+7,810	112	73,803	65,993	大学全体では、7,810 人(112)の増加。8学部全てが増加で、国際情報(139)、経済(119)は大幅増加。方式別では、一般方式は 3,767 人(108)の増加で、志願者数は5年ぶりに 48,000 人を上回った。共通テスト利用方式は、4,043 人(119)の大幅増加で3年連続増加。
明治学院大	+7,430	132	30,485	23,055	大学全体では、7,430 人(132)の大幅増加。方式別では、一般方式(123)、共通テスト利用方式(154)はいずれも大幅増加。特に、<共テ・前期>(151)は前年度大幅減少したが、志願者数は 3,350 人増加し、6年ぶりに 9,000 人を上回った。
関西大	+7,247	110	79,835	72,588	大学全体では、7,247 人(110)の増加で6年ぶりに増加。方式別では、一般方式は、2,642 人(105)のやや増加で3年ぶりに増加。共通テスト利用方式は、4,605 人(122)の大幅増加。学部別では、14 学部中 10 学部が増加。
甲南大	+6,861	137	25,381	18,520	大学全体では、6,864 人(137)の大幅増加で3年連続増加。志願者数は6年ぶりに2万人を上回った。学部別では、全 9 学部・学環で増加。特に、開設2年目のグローバル教養(282)は約 2.8 倍増、マネジメント創造(200)は倍増。
早稲田大	+6,518	107	95,938	89,420	大学全体では、6,518 人(107)のやや増加で、志願者数は9万人を上回った。学部別では、共通テストが必須となった人間科学(76)、社会科学(85)はいずれも大幅減少、基幹理工(97)はやや減少だが、その他の 10 学部はいずれも増加。
立教大	+6,334	111	62,829	56,495	大学全体では、6,334 人(111)の増加で、志願者数は3年ぶりに6万人を上回った。学部別では、11 学部中コミュニティ福祉(98)のみ微減だが、その他の学部はいずれも増加。
明治大	+6,164	106	115,323	109,159	大学全体では、6,164 人(106)のやや増加で、志願者数は4年連続 10 万人を上回った。学部別では、10 学部中8学部が増加。選抜方法を変更した国際日本(131)は大幅増加、総合数理(114)、政治経済(112)、商(108)は増加。
立正大	+5,069	163	13,132	8,063	大学全体では、検定料定額制度の導入もあり 5,069 人(163)の大幅増加。方式別では、一般方式(132)は大幅増加、共通テスト利用方式(221)は倍以上。
東京理科大	+4,778	109	57,039	52,261	大学全体では、4,778 人(109)の増加。一般方式は 2,312 人(107)のやや増加、共通テスト利用方式は 2,466 人(114)の増加で、それぞれ2年連続増加。全ての学部で志願者数が増加。

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2025 年度	2024 年度	
國學院大	+4,348	121	24,794	20,446	大学全体では、4,348 人(121)の大幅増加。方式別では、一般方式は 2,690 人(117)の大幅増加で4年連続増加だが、新規実施の<一般・A 日程(英語外部試験利用型)>を除くと 125 人(99)の微減。共通テスト利用方式は 1,658 人(136)の大幅増加で、3年ぶりに増加。
京都橘大	+4,312	136	16,325	12,013	大学全体では、4,312 人(136)の大幅増加。方式別では、一般方式は 2,951 人(136)、共通テスト利用方式は 1,361 人(135)のいずれも大幅増加。学部別では、9学部中8学部が増加。特に、(経営／スポーツ経営学)を新設した経営(222)が激増。
福岡大	+3,964	109	45,905	41,941	大学全体では、3,964 人(109)の増加で、前年度併願減額制度(応援割)を導入してから連続増加。学部別では、10学部中で薬(97)を除く9学部で増加。特に、商(120)は大幅増加で5年ぶりに増加。
関西学院大	+3,612	107	56,236	52,624	大学全体では、3,612 人(107)のやや増加で5年連続増加。学部別では、14 学部中、12 学部で増加。特に、人間福祉(135)は大幅増加で4年連続増加。方式別では、一般方式は 2,351 人(107)、共通テスト利用方式は 1,261 人(106)のいずれもやや増加で5年連続増加。
青山学院大	+3,563	108	50,672	47,109	大学全体では、3,563 人(108)の増加で2年連続増加。学部別では、11 学部中6学部が増加。特に、国際政治経済(137)、法(120)、コミュニティ人間科学(118)の3学部は大幅増加。
名城大	+3,559	108	46,208	42,649	大学全体では、3,559 人(108)の増加で、2年連続増加。学部別では、10 学部中で経済(99)を除く9学部で増加。方式別では、<一般>(105)はやや増加だが、新規に<共テ・C 方式5教科型>を導入したり、科目変更を実施した<共テ>(114)は増加。
龍谷大	+3,462	106	63,452	59,990	大学全体では、3,462 人(106)のやや増加。学部別では、法(126)は2年連続減少の反動で大幅増加。経営(118)は、(商)が新設された影響で大幅増加し、3年連続増加。改組があった社会(126)は大幅増加し、5年連続増加。
芝浦工業大	+3,123	109	38,507	35,384	大学全体では、6年ぶりに 3,123 人(109)の増加。方式別では、一般方式は 1,500 人(106)のやや増加で2年連続増加、共通テスト利用方式は 1,623 人(113)の増加で、6年ぶりに増加。

【3,000 人以上減少した大学】

大学	志願者数増減		志願者数		コメント
	増減数	指数	2025 年度	2024 年度	
大阪産業大	-4,186	72	10,823	15,009	大学全体では、志願者数が前年度 4,500 人以上増加したが、今年度は 4,186 人(72)の大幅減少。情報デザイン、建築・環境デザイン、システム工の3学部を新設し、募集人員が減少したため、志願倍率は大学全体では 21.9 倍→20.5 倍のダウンに留まった。
明星大	-3,398	78	11,872	15,270	大学全体では、志願者数が 2 年連続増加していたが、今年度は 3,398 人(78)の大幅減少。学部別では 10 学部全て減少で、デザイン(67)、情報(69)はいずれも3割以上の減少。